

東京教区時報

第1031号
2007年4月8日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

4月の代祷・信施奉献先
エルサレム教区のため 在日外国人
人権問題のため 柏聖アンデレ
教会のため 諸神学校のため

教役者会歓迎会 今春、新しく加わった聖職候補生3人を迎えての教役者集会。4月22日(日) 18時半、聖バルナバ教会。本年度の幹事、石坂みゑ子司祭、佐久間恵子執事、ケビン・シーバー執事、下条知加子聖職候補生、須賀義和執事。

城南教会グループ《聖歌フェスティバル07》 第6回を4月29日(日) 15時から聖アンデレ教会で。テーマは「ゆりかごから、み国まで」。8教会がそれぞれ
の歌を歌うほか、会場の全

今週・来週の予定

4月8日～21日

- 8(日) 復活日
主教巡回 池袋聖公会
牧師任命式
- 9(月) 聖公会神学院入学礼拝(神学院)
- 10(火) 銀座朝拝会
常置委員会
人権委員会(聖バルナバ)
- 11(水) エルサレム教区協働委員会
- 12(木) 下町G牧師協議会(聖ルカ)
- 13(金) 職員会議
外濠G牧師協議会(目白)
多摩G牧師協議会(小金井)
広報委員会
- 15(日) 復活節第2主日
主教巡回 聖救主教会
- 16(月) 財政委員会
幼稚園委員会
- 17(火) 教役者会幹事会
礼拝音楽委員会
- 18(水) 教役者レクイエム(主教座)
- 20(金) 主教座聖堂活動委員会
フェスティバル実行委員会
信徒講座=教会の歴史

員で歌う曲も用意して、大人も子ども共に楽しめるものにした」と、実行委員会で準備中。入場無料、来聴歓迎。
浅草聖ヨハネ教会で《台東九条の会・大川端寄席》 4月19日(木) 19時開演(20時半終演)。出演は寝床家道楽他。
(30分程度・入場無料)
無料。照会電話 03-3851-9521・会場教会。
4月ランチタイムコンサート
聖テモテ 17日(火) 12時30分、オルガン、向井泰子
神田キリスト 18日(水) 12時20分、オルガン、永瀬真紀

掲載記事の転用可事前連絡要

私は以前、イエス・キリストのご復活の出来事をめぐって、イエスの葬られた墓前で起こったとされることは、言わば当時の「公式記録」で、その他各地で、たとえばガリラヤ地方で、復活のイエスに出会ったという様々な、非公式「記録」が伝えられていただろう、という推測をしました。それらのエピソードが、各福音書の末尾につけ加えられています。この「公式記録」がまとめられるまでに、大分時間がかかったようです。というのは、復活を力強く語りかけるパウロは、後に墓前で出来事としてまとめられる「公式記録」を全く知らないようです。

証言者 第一号

主教 植田 仁太郎

証言です。当時の「出会った」という数々の証言者の中で、マグダラのマリアは、多分一番信じてもらえそうもない人物だったでしょう。しかし、「公式記録」の中では、異口同音に、この人こそ、最初に主の復活を証言した人だと、はっきり伝えられています。私たちの信仰はひとりの女性の証言から始まりました。

ということ、墓へ行った時に誰が

(東京教区主教)

正義と平和協議会運営
委員会報告(3月30日)

*協議会便り第8号、4月8日発行の進捗を確認

*正義と平和協議会を6月16日(土)に開催(会場未定)。

*教員の思想信条の自由と尊厳を支援するために、当会議長が信仰と生活委員会・人権委員会の両委員長と協働して支援していく意向を確認

*信仰と生活委員会と共催する憲法についての学び、運営委員の泊研修会等の開催へ向けてを協議(継続)、他。

銀座朝拝会の新世話人 2

月以来、関係者間で相談、調整し合いながら、3月、4月と途切らすことなく開催企画を進めてき

た。そしてこのほど、朝拝会メンバー有志数人による「世話人会」がつくられて、運営役を継承することが正式に決まった。世話人代表としては松田正人(真光)・井上光子(聖マーガレット)・岩崎良平(月島)の3人。

チャプレンは従前通り佐々木庸司(祭池袋)、また財政支援も信仰と生活委員会の管轄、窓口業務に宮脇博子(宣教主事)。今回の新体制により、BSA(日本聖徒アンデレ同胞会)は、当時の教区宣教委員会のあと1985年以来20数年にわたって務めてきた世話人役の労をつつがなく終えたことになる。毎月第2、第4火曜日7時半～9時半、銀座2丁目のルノール喫茶室(ニュー銀座)で、銀座方面へ出掛ける

方勤務先がある方、聖書を開き祈りと話(ゲスト)で朝のひとときを」と、関係者は参加を呼び掛けている。

人権委員会(長 打田茉莉)講演会(外国人労働者の現状に迫る、ナショナルな向こうに見えるてくる夢、外国人住民との共生社会へと) 講師 榎本讓(日本バプテスト連盟筑波バプテスト教会牧師)。4月21日(土)14時～16時 牛込聖公会聖バルナバ教会。照会電話 03(3316)7996。

聖愛教会講演会、石井筆子の信仰と生涯 4月22日(日)13時半～15時半、講師 河尾豊司(滝乃川学園福祉文化室長)。照会電話 03(3416)1819。

【学びと働きから】37

月島聖公会将来計画検討

特別委員会設置へ

教会が、教区も含めて(将来ビジョンを持つことは大変に重要なことです。若いも若きも心を一つにして将来の夢を語り合うことがなくては教会の力は湧いてこないでしょう。教会は今何をなすのか、どこへ向かって行くかとしてしているのかのビジョンがないと迷走してしまいます。

同じような悩みを抱えている教会もあるかも知れませんが、建物の老朽化は、特に幼い子どもたちを預かっている月島聖公会としては急務の課題です(現状は時報2月11日号参照)。月島の地で長い間、保育園を通してキリストの福音を伝えてきまし

た。礼拝堂も保育の場所として使われています。小さき魂と共に祈り成長することを第一に考え、通常の教会活動を自己規制してきたとも言えます。今、月島聖公会はただ単に建て替えればよいというのではなく、将来を見据えて教会のあり方も問われています。借用地の問題を解決することを含めて多くの課題がある中で、月島聖公会という小さな群れだけで考えていくことは今、困難なことです。

4月常置委員会で特別委員会の構成が答申される予定です。可及的速やかに教区全体の課題として特別委員会の中で検討され、良い方向性が見出されることを切望しています。

常置委員長 司祭 大畑喜道

《今、この教会では・・・》

葛飾茨十字教会

当教会は東京のはずれの小さな教会ですが、葛飾学園サン・ピエールに移ってこられた信徒の方からも信仰への活力をいただいています。みんなで、百歳までは元気で！と家族的な教会生活を送っています。ところが時期を同じく、百歳にはほど遠い60歳、70歳代の信徒で、昨日まで元気に教会にご奉仕されていた方、また間接的に教会にご奉仕願ったその家族の方々が、急に病氣と闘うことになってしまいました。幸いにも病氣に打ち勝った方もおられますが、いまだ病いと闘っている方々もいるといった現状です。どうぞ加禱のうちには。(木澤武司)